

ハナハナキの

鏡を見る　こんろ容色クおとろえたか

だんだんと思ろ

年と共におとろえろのほ仕方のなるとろくか

でももう少しほんの少しでいいかう若う

かざりやうなると思ろ　元々たしいしと

のな顔だがうこんろもんだ　と思ろ

かろほいおやいの現実

息目スマホで先輩の顔を見た

日本画家だ　めがねをかかたりりとしたか

お　きんしのかお　九十九方とは見えろい

おとろのあお　うらとろつてしちつた

口心のクヤルし　政道をのほつたとまりて

い　何れ年と午辰人のかおは　りりれい

の　魂役といろ先輩の

お今話ほの　お怒が去る　おと思ろ

やさしい人はやさしいかおをしいる

おはだきさこれり　おさよるうにる　あり

す　ひよくとこ　おさしやすいかお

してもしい　おとろかおもしれあ

もう一度鏡を見る

ここがところかクマと妻紀一と

口元の肉が落ちほほの肉も落ち顔全体が小さ

く蒼々たる 唇のひびいても少しせまくなるた

頭蓋骨の上にほどもくろくろていし肉が守らな

つた ニギかやがむつ二んてこれ又頭蓋骨そ

の毛のにおろすま

目のまわりがグレイシのくま松た

朝不きると他程水でかおをふすゆかおをふす

入れ歯を大わろ すろとやと「おはゆさん

になる 「ゆたおと入山」がすしとおぼろさん

此方だ

二んやかおのきくと「たましはいかすい」少し

ほろとすま だましたいのきいんただまゝた

くすいほすだ 又又又、もうだすまれのい

でももう少しこのかおでいけられけりやん

私のかおだ いとしんていころ

2618
6.13